

令和4年度第1回狭山市立図書館協議会会議録

- 開催日時 令和4年7月6日(水)
午後2時～午後3時50分
- 開催場所 中央図書館 視聴覚室
- 出席者 横田保太郎会長
伊藤真理子委員 今福裕美子委員
齋藤裕美委員 指田良恵委員
宮崎 望委員 佐伯哲雄委員
河野郁夫委員 小浦太郎委員
- 欠席者 阿久澤忠委員
- 事務局 滝嶋教育長 内藤生涯学習部長
(中央図書館) 加藤館長 平沢副館長 塩川主幹
(狭山台図書館) 吉田館長
(教育指導課) 笠原指導主事
- 傍聴者 なし
- 協議事項 (1) 令和3年度事業報告について
(2) 令和4年度事業計画について
(3) 第3次狭山市子ども読書活動推進計画の策定について
(4) 図書館運営基本方針について
- 会議の経過
- 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 会長・職務代理の選出
会長に横田保太郎委員が選出され、職務代理に齋藤裕美委員が指名された。
 - 4 議事
- (1) 令和3年度事業計画について
事務局 事務局より図書館要覧に基づき令和4年1月から3月に実施した事業について報告を行った。

中央図書館からは、「認知症サポーター養成講座」「お楽しみパック」「市民文芸「さやま」の発行」、「よむぞうタイムズおすすめ本」「よむレンジャーおすすめ本」などについて説明した。
狭山台図書館からは、「ちびちびぞうクラブ」「ちびちびクラブ」「でかぞうクラブ」などについて説明した。

質疑・意見等 特になし

(2) 令和4年度事業計画について

事務局 事務局より図書館要覧に基づき、昨年度からの変更点や主な事業について説明を行った。

中央図書館からは、「狭山市子ども読書活動推進計画」の推進・次期計画の策定、既存事業を再編した「ちびぞうプラス」、入曽地域交流センターとの共催事業、ミニ特集本コーナーを設置しての資料展示、子ども映画会、学校図書館との連携及び学校関係者、社会教育関係や団体との連携について説明した。

狭山台図書館からは、「地元企業の隠れたスゴ技見てみよう!」「自然散策狭山の豊かな自然に触れる事業」について説明した。

委員 学校への出前事業（読み聞かせ事業等）は今年度も行うのか。また、その申込方法を教えてほしい。

事務局 令和4年度の学校への出前事業については、年度当初に各校あてに通知を行い、また、教育指導課と共催で行った学校図書館担当者及び学校図書館司書が参加しての学校図書館と市立図書館との情報交換会の際にも説明を行った。各事業の実施時期により申込締切りを設定して受付けを行っている。

(3) 第3次狭山市子ども読書活動推進計画の策定について

事務局 中央図書館から、「第3次狭山市子ども読書活動推進計画（素案）」について説明を行った。

委員 第3次狭山市子ども読書活動推進計画について、多岐に渡った膨大な情報を、学校や市民にどの様に分かりやすく情報を提供していくのか。

事務局 計画の策定段階で、庁内会議の委員に学校教育部門からの委員も含まれているので、各関係機関と連携しながら情報提供をしたり、市民向けにはホームページの利用など、分かりやすく伝えられるように検討していきたいと思う。

(4) 図書館運営基本方針について

- 事務局 中央図書館から、「図書館運営基本方針」について説明を行った。
- 委員 P 35の基本理念と4つの柱について、ポイントを押さえたきちんとした捉え方だと思う。そこで、提案として、狭山市の図書館はこうあって欲しいというイメージをわかりやすくするために、例えばキャッチコピーやポップなどを公募したらどうか。また、それらをポスターにして、図書館や学校やその他の公共施設などに掲示すると、より親しみを持てるのではないか。小学生には、こういう図書館になって欲しいというイメージを、言語表現と絵を描いて貰うなどはいかがか。
- 事務局 今後、参考にしていきたいと思う。
- 委員 P 15について、地区別一人当たり利用者割合が、図書館のある位置によって、数字に違いがでていることが気になる。近隣の所沢市では、コンビニでの本の貸出しや返却ポストの設置等、民間企業による地域貢献がされている。入曽駅周辺整備事業が進んでいるが、民間企業への依頼などの取り組みをしたらどうか。地域住民の声を反映したブックカフェなどの、企業の地域貢献となるようなものを取り入れてもらうよう依頼してはどうか。
- 事務局 入曽駅周辺整備事業については、この場で図書館がお答えすることはできないが、機会を見てご意見を担当部署に伝える。図書館ではないが、入曽地域交流センターの中に図書コーナーがある。児童書も揃えているので、そちらもご利用いただきたい。
- 委員 図書館が様々な事業を、多岐に渡り実施していることに驚きとともに感謝をしている。しかしこれだけの事業を実施しているのに、一人ひとりに余り伝わっていないところが残念なので、みんなで伝えていけたら良いなと思っている。
- 個人的にいろいろな国内外の図書館や書店に行く機会があり、最近の傾向として、書店で、購入していない本を、コーヒーを飲みながら読めるなど、図書館化されてきている。また、図書館とカフェが併設されているところもある。図書館は、今後どのような方向に展開していくのか、重要なことだなあとと思っている。図書館は、できる範囲内の既存のものを利用しながら、民間企業や地域のお店とのコラボ（例えば、よむぞうくんとのコラボなど）を展開していけば、おもしろくなるのではないかと期待している。
- 委員 以前、図書館の4館構想（中央、狭山台、柏原、入曽）があったがいつの間にか消えてしまった。今回、入曽地域交流センターのキッズルームの中に図書コーナーができたが、貸出しができない状態。

新しい施設ができるのであれば、図書の貸出しまでできる施設ができたら良いと思う。また、中学校で図書ボランティアを行った経験から、子どもは本と接する機会があれば、本を借りるようになると思うので、環境を整えてほしい。

委員 移動図書館さみどり号の利用を増やすことについて、狭山市では、最近、キッチンカーがイベント会場に来ているので、移動図書館さみどり号もその場に来てくれると、沢山の人が借りてくれるのではと思う。

委員長 狭山市は、中央図書館と狭山台図書館と移動図書館で図書館サービスをしているが、近隣市では、計画的に分館を増やし、読書活動を推進している。近くに図書館があれば利用する機会が多くなる。しかし、図書館があるだけでは、読書活動が広がっていかないので、これからどうしていくのが重要なポイントになるのではないかと。中央図書館は、書庫に本がいっぱいの状態。狭山台図書館も同様。そういった図書館の本を活用していただければと思う。また、読書活動の推進には、財源の確保が必要であり、ボランティアだけでは難しい。図書館がもう一歩先に進むためにも、図書館基本方針の内容を詰めていただければと思う。

5 その他

次の三点について委員に協力を要請し、了承いただいた。

- (1) 本日会議で言いつくせなかったことや気づいたことなどがあれば、7月16日正午までに中央図書館へご意見をお寄せいただきたい。
- (2) 次回会議は2月辺りに予定される。
- (3) 今後、計画や方針を策定していく中で、資料送付を行うのでご意見を寄せていただくなどのご協力をお願いしたい。

6 閉会